

2012 年 12 月 13 日

報道関係各位

アストラゼネカ株式会社

逆流性食道炎の症状が労働生産性の低下に与える影響について

～1 週間につき平均 9.50 時間の損失が明らかに～

アストラゼネカ株式会社(本社:大阪市北区、代表取締役社長:ポール・ハドソン)は、慶應義塾大学医学部内科学(消化器)鈴木秀和准教授と共同で、調査「労働生産性の低下に胃食道逆流症(GERD)症状が与える影響」を実施しましたので、下記に調査結果をお知らせします。

日本人の逆流性食道炎の患者数は増加の一途をたどっています。患者さんが訴える逆流性食道炎の症状は多岐にわたり、QOL(生活の質)への深刻な影響が報告されています。しかしながら、胸やけや吞酸(どんさん)などの逆流性食道炎の症状が、日本人の労働生産性に与える影響につきまして、これまで検討されたことはありません。

そのような背景から、逆流性食道炎に代表される GERD の症状による労働生産性への影響とその要因について把握し、GERD 症状の適切な管理を目指すことを目的に、今回の調査が実施されました。

本調査は、インターネットにより実施し、就労者であり薬物治療を受けている GERD 患者さん(368 人)、及び就労者であり未治療であるものの問診票^{※1}を通じて GERD と判定された患者さん(343 人)を合計した 711 人^{※2}を解析対象としています。また、本調査では問診票^{※1}の各スコアが労働生産性の低下を予測する指標になり得るか、検討することも目的としています。(調査期間:2012 年 10 月 4 日～10 月 10 日)

※1 GerdQ 問診票(添付参考資料:GerdQ 問診票)

※2 スクリーニング対象 20,000 人より除外対象を除き、抽出した対象 711 人

本調査の結果により、次のことが明らかになりました。

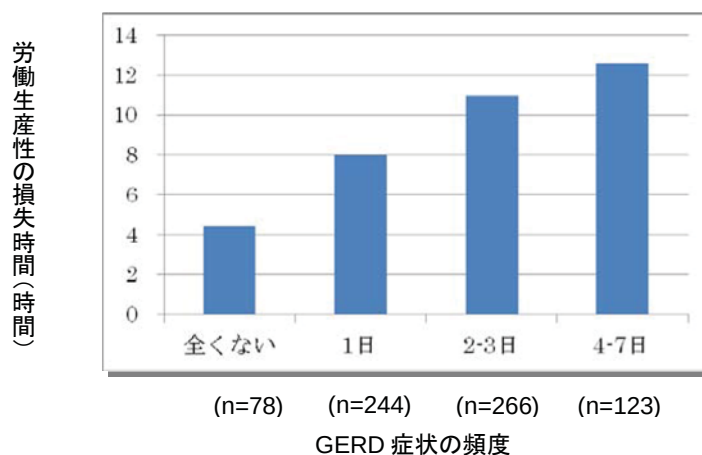
- ・ 週 1 回以上の GERD 症状(症状の頻度)と労働生産性の低下が関連していた
- ・ GerdQ スコアの高値と労働生産性の低下が関連していた
- ・ 治療満足度の低下と労働生産性の低下が関連していた

なお、本調査の結果、労働生産性の低下による損失に関して、次のことが明らかになりました。

- ・ 労働生産性の損失時間は平均 9.50 時間/週であった(標準偏差±12.7 時間/週)

GERD 症状の頻度は、労働生産性の損失時間と関連していることが下記のように示されました。

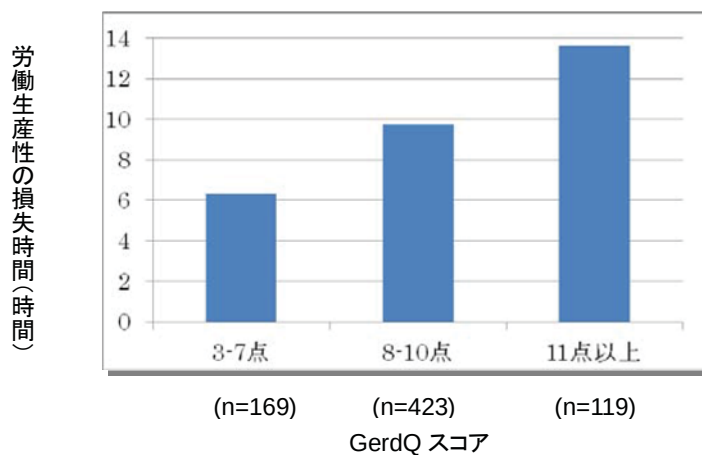
表 1: GERD 症状の頻度と労働生産性の損失時間



※GerdQ 問診票項目 1,2 のうち頻度の高い方を GERD 症状の頻度と定義した

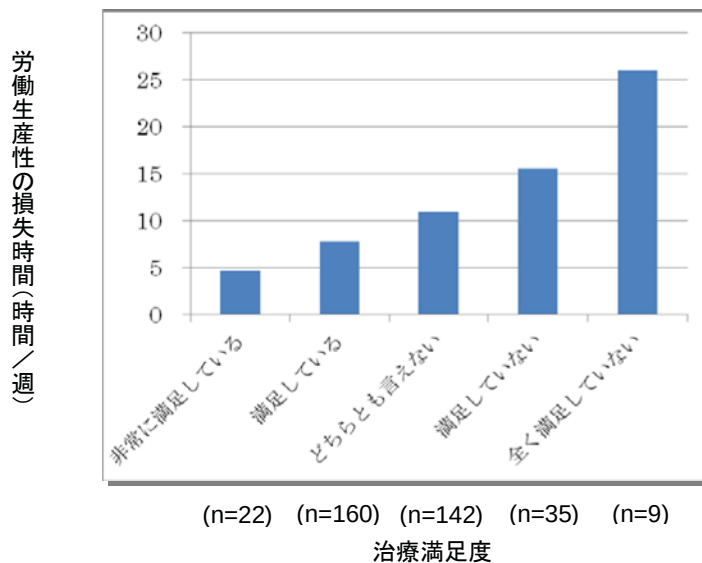
GerdQ スコアの高値と労働生産性の低下が関連していることが、下記のように示されました。

表 2: GerdQ スコアと労働生産性の損失時間



治療満足度の低下と労働生産性の低下が関連していることが、下記のように示されました。

表 3: 治療満足度と労働生産性の損失時間



今回の調査結果を受けて、鈴木秀和准教授は「今回の調査を通じて、週に1日の GERD 症状の発現でも労働生産性の低下に大きく影響していることが分かりました。また、労働生産性の損失時間は平均 9.50 時間/週と平均約 40 時間/週の労働時間の約 25%を占め、時給換算すると約 17,000 円との試算結果となりました。これらの結果については、さらなる検討が期待されます。また、GerdQ 問診票における逆流関連症状の頻度は、労働生産性の損失時間を予測し得る指標であることも分かりました。今後は問診票をうまく活用し、患者さんの満足度についても確認しながら、GERD 症状の消失を治療目標に定めることが重要になると考えます」と述べています。

「胃食道逆流症(GERD)」とは:

「逆流性食道炎」は酸性度の強い塩酸(胃酸とも呼ばれています)を含む胃の内容物が食道に逆流することで、食道の粘膜に炎症が起きた状態です。内視鏡で見て炎症が見つかる場合は「逆流性食道炎」、炎症が見つからなくて症状を起こす場合は「非びらん性胃食道逆流症」と診断されますが、それらをまとめて「胃食道逆流症(GERD)」と呼んでいます。症状としては、胸やけ、呑酸(のどの辺りや口の中が酸っぱい、胃の中身が逆流する感じ)が典型的ですが、お腹の張り、のどの違和感、胃もたれ、頻繁にげっぷが出る、よくせき込む、胃の痛みなど上腹部全体のさまざまな症状を感じる場合があります。

詳しくは、胸やけ・呑酸.jp (<http://www.muneyake-donsan.jp/>) をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先
アストラゼネカ株式会社 広報部
TEL: 06-6453-8011
HP: <http://www.astrazeneca.co.jp/>

GerdQ問診票 GERDの診断: 総スコアが8pt以上 治療効果の判定: 枠内に1つ以上チェックがあれば、「治療効果不十分」

過去7日間のあなたの症状を振り返ってみ
てください

全くない 1日 2～3日 4～7日

1.胸焼け(胸骨のうしろが焼けるような感じ)はどのくらいありましたか?	0 _{pt}	1 _{pt}	2 _{pt}	3 _{pt}
2.胃に入っているもの(液体または食物)が喉や口のほうまで上がってきたこと(逆流)はどのくらいありましたか?	0 _{pt}	1 _{pt}	2 _{pt}	3 _{pt}
3.上腹部中央の痛みはどのくらいありましたか?	3 _{pt}	2 _{pt}	1 _{pt}	0 _{pt}
4.吐き気はどのくらいありましたか?	3 _{pt}	2 _{pt}	1 _{pt}	0 _{pt}
5.胸焼けや逆流のために、夜、快眠がえられなかったことはどのくらいありましたか?	0 _{pt}	1 _{pt}	2 _{pt}	3 _{pt}
6.胸焼けや逆流のために医師から指示された以外の薬(市販の胃薬等)を服用したことはどのくらいありましたか?	0 _{pt}	1 _{pt}	2 _{pt}	3 _{pt}

GerdQとは: プリマリーケア医の GERD の診断・管理に有用なツールとして英国で開発された質問票で、症状に関する4項目(胸やけ、呑酸、上腹部痛、悪心)および生活への影響に関する2項目(睡眠障害、市販薬の追加使用)で構成されており、過去1週間でそれらの頻度が「全くない」「1日」「2～3日」「4～7日」の中から回答を選択してもらう。その他の2項目(3.上腹部痛、4.吐き気)は他疾患との鑑別のための質問。